

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関西大学 千里山東体育館	階数	地下1F、地上3F
建設地	吹田市千里山東3丁目8番	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第2	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,300 時間/年
建物用途	学校、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年2月10日
敷地面積	136,938 m <sup>2</sup>	作成者	東畑建築事務所 坂口文彦
建築面積	3,091 m <sup>2</sup>	確認日	2017年3月20日
延床面積	6,896 m <sup>2</sup>	確認者	東畑建築事務所 菊地健作



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 77%

③上記+②以外の 75%

④上記+ 75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 平常時・災害時を問わず、安心・安全に対応したアリーナを計画。 災害時は地域防災に寄与する避難所としての利用を行う。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 体育館としての音環境・温熱環境に配慮し、遮音性能の高い建具や壁等を採用。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を各階4.0m以上確保し、空間のゆとりを配慮している。また、体育館としての耐久性を確保することのできる内装材を採用している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺環境からの眺望に配慮するとともに、沿道緑化を積極的に行うことで、緑化環境の向上にも努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物の熱負荷抑制に配慮するとともに、フィットネススタジオではハイサイドライドによる自然光の取り込みを行っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の衛生器具を導入や非構造材においてリサイクル材の利用を行っている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 舗装は全天候型舗装とすることで、砂塵の抑制に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0169

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>		建物名称	関西大学 千里山東体育館					
		建設地	吹田市千里山東3丁目8番					
		用途/区分	学校					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価	★★★★☆				A		
	CO2削減	★★★★☆				4		
	省エネ対策	★★★★☆				4		
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆				3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		
エネルギー消費量の報告						報告しない		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.0	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			4.6			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			5.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			3.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								